

情熱と夢と想像力

常務取締役 前田 由博

2011年3月11日東日本大震災が発生しました。同時に福島原子力発電所の事故、放射能拡散が発生し、正に日本の歴史上最大とって言い災害が続いています。

“原子力技術は絶対安全だ”という世界的にマインドコントロールされていた科学の嘘が実証された現実を我々は突きつけられました。

“世の中に絶対安全など存在しない”常にいかに全てのことにリスクを最小化するかという当たり前のことを改めて思い知らされた気がします。

研究技術巻頭言という私にとって重い宿題を依頼されましたが、技術に生きる私どもにとって、今回の災害ほど全ての技術について考えさせられたところが多いと思うところであります。

私は入社以来、すべて現場のプラントに携わってきました。プラントは生き物です。いろんな挙動をしてきます。合成、反応、設備、腐食、品質ほんとにいたずらの塊です。

その都度、必死に対応してまいりましたが、なかなか本質が見えず解決に時間のかかったことも数知れずありました。夜中にトラブル機器の前で何時間も座り込んで何が起きているか見抜いてやろうとしたことも度々ありましたが、一番有効だったのは、夢の中でヒントや解決策が生まれてきたことでした。信じられないことですが、人間何かに夢中になっているときは眠りの最中でも、頭脳が何でだろうと必死に働いているように思えます。

最近、事故・災害が多発しておりますが、大震災同様、想定外はありません。油断することなく常に想像力を働かせて安定操業に努めていただきたいと思います。

研究・開発も夢の追求です。将来のビジネスモデルも視野にいれながら、どうか眠りの中からもその成果がでるよう情熱を持って、夢の実現を図っていかれるよう心からお願いいたします。

今や日進月歩の言葉が古くなり、時間勝負の世界です。現状維持は退歩の始まりです。生産技術も研究開発力もとにかく魂をこめて取り組んでもらいたいと願います。